





人類の英知あつめて

花ひろく万国博

進歩と調和と

全会場にあふれるテーマ

日本万国博は「人類の進歩と調和」をテーマに、いよいよ三月十五日から九月十三日までの六か月間、大阪府千里で開幕される。広大な会場はすでに外装が完了、いま内部設備の仕上げの作業が昼夜兼行で行なわれている。アジアではじめての日本万国博、国内はもちろん全世界が注目をおびている万国博の魅力を紹介します。

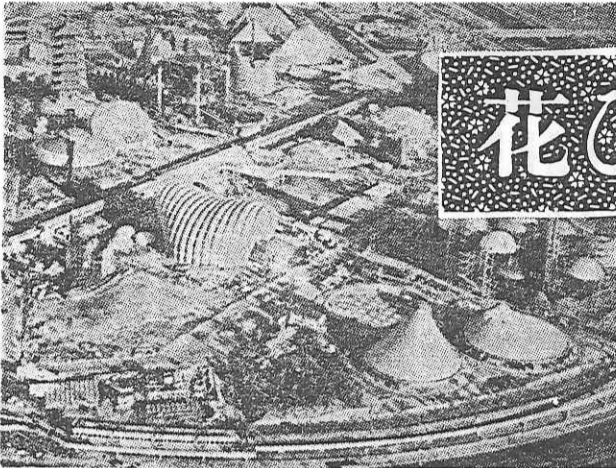
会場の広さは約三百三十万平方メートル、甲子園球場が八十三も入るほどだ。国際機や州、市などを含めた外国の展示館は八十六、それにわが国から政府、地方自治体、二公社民間企業など二十以上の民間企業が、二十以上の展示館を築き、いっしょに人類の進歩と調和のテーマがくりひろげられる。

各国自慢の催し物

日本の祭り 大層根つき抜けて高くそびえる太陽の塔を中心に、地下、地上、空中の三つの空間からなり、テーマをわかりやすく展示し、人類の過去、現在、未来を表現する。地上展示は「現在・調和の世界」として一万六千平方メートルの広場、中央から入場する旅客を最初に通えるところである。中央に太陽の塔、左手に「母の塔」右手に「写真は開幕をひかえた万国博会場」が催され、午後はいのちの島が催される。

夢と技術の外国館

外国パビリオンのうちおもなテーマ見学会時間は以下の通り。【スカンジナビア館】デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、アイスランドの五ヶ国が出品。【自然の保護】のテーマを立体的に表現。(四十分)【ビルマ館】王宮の建物の原産物を中心に展示。(二十分)【アメリカ館】アメリカの歴史アポロ計画の月の特別出品。(百二十分)【中華民国館】中国、日本、西洋の文化交流を象徴。(四十分)【大韓民国館】十八本の柱で躍進する姿を描く。(四十分)【ドイツ館】円筒形の建物で、テーマは「協力、進歩、平和」。(六十分)【フランス館】エドモンド方式会場にはいるような施設のほか、一日平均十七万人の観客が予想されるだけあって安全、快適に観覧できるようなサレレスの点でも造りこなし、無料の施設などいろいろの施設をめぐらすが、金はどうなるのかと心配する人が多い。展示館は無料で、有料は美術館、万国博ホール、エキスポ・タワー、エキスポ・タクトシ、ロープウェイ、ロッカー、動く歩道や昇降車、身障者用車は無料となっている。エキスポ・タワーの展示台へのエレベーターの料金は約五百円(子ども五十円)。



全修学企画の第十四回・本年度教職員研修旅行は、万国博コースのほか「北海道」「東北」「佐渡」「新潟」「富山」「石川」「福井」「山梨」「長野」「岐阜」「愛知」「三重」「滋賀」「京都」「奈良」「和歌山」「鳥取」「徳島」「高松」「香川」「岡山」「広島」「山口」「福岡」の各都道府県を、すでに全修学旅行の各都道府県支部と協力機関は目標の六千名規模に向けて進捗を急いでいる。地区別の実施コースと会費は次の通り。

- ▽北海道 札幌発着六日、三万九千九百円。【能登】立山・飛騨を除く。【四国】東北地区と同様。【九州】東北地区と同様。
▽北陸地区 名古屋発着八泊九日、四万九千九百円。【東北】上野発着六日、二万九千九百円。【四国】大阪発着五泊六日、二万六千九百円。【九州】神戸発着六日、二万八千九百円。
▽東海地区 名古屋発着八泊九日、四万七千九百円。【東北】上野発着六日、二万九千九百円。【四国】大阪発着五泊六日、二万六千九百円。【九州】神戸発着六日、二万八千九百円。
▽近畿地区 京都発着八泊九日、四万七千九百円。【東北】上野発着六日、二万九千九百円。【四国】大阪発着五泊六日、二万六千九百円。【九州】神戸発着六日、二万八千九百円。
▽中国地区 広島発着八泊九日、四万七千九百円。【東北】上野発着六日、二万九千九百円。【四国】大阪発着五泊六日、二万六千九百円。【九州】神戸発着六日、二万八千九百円。
▽九州地区 福岡発着八泊九日、四万七千九百円。【東北】上野発着六日、二万九千九百円。【四国】大阪発着五泊六日、二万六千九百円。【九州】神戸発着六日、二万八千九百円。

あり、修学旅行の企画から教職員、マンモス、原研など年代ごとで代表的な生物の展示が展示されている。観客に空中展示からエスカレーターでの展示場からエスカレーターから、歩道で行ける地下展示は、根拠の世界を象徴。ここはすべての人々に共通する心ふるまを現代人によみがえらせようとするのがねらい。展示は「いのち」「ひと」「こころ」の三つの空間に分けられている。空中展示は、進歩の世界としてシンボルゾーンをおおむね屋根の中に設けられている。太陽の塔を通過して空中へ出ると、それは回転軸とされる動くデコクティとなり、生活、世界、人間、宇宙の四つのセクションを回る。なかでも目を惹くのは、縦三・三、横五の巨大スクリーンに写されるさまの映像である。

が陳列される。イギリスのテイラー、ベルギーのアントワープ、フランスのローム法王庁のバチカン美術館などからの出品物は、いずれも日本では初公開のものばかり。国内からは東京、京都、福岡、各都道府県、各寺院からの総数は約百二十三点が展示される。この中には雪舟の「破墨山水図」や高山寺の「鳥獣戯画」なども含まれており、文字通りの大美術館となっている。

無料の施設など いろいろの施設をめぐらすが、金はどうなるのかと心配する人が多い。展示館は無料で、有料は美術館、万国博ホール、エキスポ・タワー、エキスポ・タクトシ、ロープウェイ、ロッカー、動く歩道や昇降車、身障者用車は無料となっている。エキスポ・タワーの展示台へのエレベーターの料金は約五百円(子ども五十円)。

白樺と四季の花にかこまれた奥日光温泉。そこは《友》を呼ぶ青春の泉。修学旅行の専用旅館 ニュー南間 奥日光高原ホテル 電話 028862-85(代)

EXPO'70 guide book. 快適な万博見学 最適なガイドブック. 本文はどのページも3色刷り。写真が豊富で、解説が簡明。折込地図は9色刷り(長さ50cm) 万国博会場を中心とした大阪・京都・奈良の地図 日本万国博に参加した国々に(世界地図)と参加国一覧表 万国博会場の平面図とカラー写真. 先生用の解説書つき この解説書は生徒用書の2倍の量(定価200円) ご採用校には生徒用書20冊につき解説書と生徒用書を各1冊贈呈。 発行所 株式会社 交通協同出版社 東京都文京区小石川3-36-4(〒112) 電話 東京 03(815)2345(代表)